

教科(科目)	家庭科 (家庭総合)	単位数	2単位	学年(コース)	2学年 (全学科)
使用教科書	実教出版『家庭総合』				
副教材等	実教出版『家庭総合学習ノート』				

1 学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を伝承し自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

2 指導の重点

就職者の割合が多く、高校卒業後すぐに社会にでる生徒が多いことから、

- ① 一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することを目指します。
- ② 学習内容を科学的・体験的・総合的に理解することを目指します。
- ③ 家庭や地域の中から問題を見だし、それを解決・評価・改善し、生涯を見通して課題を解決する力を養うことを目指します。
- ④ 生活文化を伝承し自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために、課題に主体的に取り組んだり振り返ったりして、地域社会に参画しようとする実践的な態度を養うことを目指します。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身につけている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を伝承し自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・観察、実験での観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認  などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析  などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取り組みの観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析  などから、評価します。
評価方法	内容のまとめりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

5 学習計画 ※今年度、6月下旬より調理室大規模改修のため学習内容順を変更する可能性があります。

月	単元名	授業 時数	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	○人と食物のかかわり ○私たちの食生活  ○調理実習	4	教科書 学習ノート 計画書	○気候風土や宗教による食生活の違い、日本の食文化の形成、世界の食の多様性について理解する。 ○自身の食生活の現状把握と今後の課題、ライフステージごとの食生活の特徴を理解する ○健康で豊かな食生活を育むためのてがかりを学ぶ。 ○事前・事後学習を含め、衛生や安全に配慮して調理を実践することができる。	4	教科書 学習ノート (記述の点検) (計画書の点検・取り組み状況・完成度)
5	○調理実習  ○栄養と食品のかかわり ○食品の選び方と安全	7	計画書 教科書 学習ノート	○事前・事後学習を含め、衛生や安全に配慮して調理を実践することができる  ○栄養素とその働きを理解し、偏りのない食生活について考える。 ○食品の旬・食中毒・食品添加物について理解する。 ○食品を選ぶ際のポイントを身につける。	7	(計画書の点検・取り組み状況・完成度) 教科書 学習ノート (記述の点検)
6	○調理実習  ○食事摂取基準と食品群別摂取量のめやす ○食事の計画	8	教科書 学習ノート 計画書	○事前・事後学習を含め、衛生や安全に配慮して調理を実践することができる ○年齢や性別ごとに異なる一日に必要な食事摂取基準とそれを満たすための食品の概量を理解する。 ○家族の食生活の計画と管理について実践しようとしている。	8	(計画書の点検・取り組み状況・完成度) 教科書 学習ノート (記述の点検)
7	○定期考査	1			1	(ペーパーテストの分析)
	○子どもとは  ○こどもの発達  ○こどもの生活  ○こどものための社会福祉	6	教科書 学習ノート	○次世代を担う子どもを育て、育んでいくことの責任について考える。 ○10代の健康が将来生まれてくる子どもにつながっていることを知る ○子どもは、親や保育者などの身近な大人とかかわり発達していくことを理解する。 ○子どもの成長の様子を知る。 ○子どもの基本的な生活習慣や社会的な生活習慣がどのように身につくか知る。 ○子どもの食生活・衣生活・安全管理などについて学ぶ。 ○子育てにかかわる社会的課題について知り、どのようなサポートが必要とされているのか考える。	6	教科書 学習ノート (記述の点検)
	○ホームプロジェクト	1	教科書 学習ノート	・学んだことを生かして、ホームプロジェクトを実践する。(夏季休業課題)	1	レポート (内容の確認)
8	○ホームプロジェクト	2	教科書 学習ノート	・ホームプロジェクトの実践発表をする。	2	(発表への取り組み状況)
	○子どもをはぐくむ	2	教科書 学習ノート	○子どもの権利と福祉のあゆみについて理解する。 ○子どもを生み育てる意義について知る。 ○現在の親子に関わる課題と解決方法を考える。	2	教科書 学習ノート (記述の点検)
9	○子どもをはぐくむ	1	教科書 学習ノート	○認定こども園に訪問し、実際にこどもとふれあう。	1	(計画書の点検・取り組み状況)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢社会に生きる</li> <li>○高齢者を知る</li> <li>○高齢者の自立を支える</li> <li>○高齢社会を支える仕組み</li> <li>○支え合って生き</li> <li>○共生社会を生きる</li> </ul>	7	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高齢社会、超高齢社会といわれる日本の現状と課題を理解する。</li> <li>○加齢にともなう高齢者の状況を客観的に理解する。また、個人差があることも理解する。</li> <li>○高齢者と家族とのかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活の課題について考える。</li> <li>○介護が必要になった高齢者に対し、どのような心がけが必要なのか理解する。</li> <li>○日常生活を手助けできる介助の技術を身につける</li> <li>○高齢者を支える介護保険制度について理解する。</li> <li>○介護をめぐる課題について理解し、課題解決に向けてどのようなことが必要なのか考える。</li> <li>○「福祉」という意味について考える。</li> <li>○私たちを支える社会保険制度のしくみなどを理解し、将来にむけての課題に気づく。</li> <li>○私たちの暮らしは、支え支えられて成り立っていることを考える</li> <li>○ボランティア活動や地域社会でのさまざまな活動の意義について理解し、積極的にかかわる。</li> </ul>	7	教科書 学習ノート (記述の点検)
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人間と住まい</li> <li>○住まいの文化</li> <li>○住まいを計画する</li> </ul>	8	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○住まいはどのような機能を持ち、人の生活がその機能とどうかかわっているか理解する。</li> <li>○日本や世界の気候風土と住まいとの関係、そこでの人間の営みとの関係を考える。</li> <li>○日本の住まいが現在までどのように変化してきたか理解する。</li> <li>○日本独特の生活様式や、季節を取り入れた暮らし方を学ぶ。</li> <li>○ライフステージや住まう人の住要求によって、平面計画が変化することを理解する。</li> <li>○住まいの生活空間の機能を理解し、より快適な住まい方を考え、平面を計画する。</li> </ul>	8	教科書 学習ノート (記述の点検)
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康に配慮した快適な室内環境</li> <li>○安全な住まい</li> <li>○持続可能な住まいづくり</li> </ul>	7	教科書 学習ノート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○快適な室内環境をつくるためのさまざまな要素を理解する。</li> <li>○安全で長く住み続けるために必要な適切な管理方法を理解する。</li> <li>○災害の情報をどのように入手し、安全への備えとしてどのようなことが必要かを考える。</li> <li>○日本の住宅政策の目的を知り、時代と共にどのような対策が行われてきたかを知る。</li> <li>○住まいとエネルギーまちづくりなどの観点から、持続可能な住まいとは何かを考える。</li> </ul>	7	教科書 学習ノート (記述の点検)

12	○消費行動と意思決定  ○消費生活の現状と課題	5	教科書 学習ノート	○主体的な消費行動とはどういうことか、多角的に考える。 ○情報社会における生活情報とは何か、またその適切な活用方法について学ぶ。 ○契約に関する理解を深め、さまざまな販売方法を学ぶ。 ○契約に関する法律を理解する。 ○問題商法を未然に防ぎ、早期解決の方法を考える。 ○多様な支払い方法を学び、消費者信用の制度を理解する。	5	教科書 学習ノート (記述の点検)
	○定期考査	1			1	(ペーパーテストの分析)
1	○消費者の権利と責任  ○ライフスタイルと環境	4		○消費者と事業者の格差を理解し、消費者の権利と責任を考える。 ○これからの社会に求められる消費者の自覚と行動のあり方を検討する。 ○日常の生活が地球環境問題やグローバル社会の諸問題と密接にかかわっていることを理解する。 ○持続可能な社会の実現に向けた消費行動について考え、実践する。	4	
2	○暮らしと経済	3	教科書 学習ノート	○生活における経済と社会のかかわりについて学ぶ。 ○家計の構造について理解しよう。収入と支出にどのような項目があるか理解する。 ○適切な家計管理について考える。 ○将来のライフイベントとその費用について考える。 ○将来おこるかもしれないリスクを考える。	3	教科書 学習ノート (記述の点検)
	○定期考査	1			1	(ペーパーテストの分析)
3	○将来のライフプランニング	2	教科書 学習ノート	○将来に備えた長期的な経済計画について学ぼう。 ○金融商品について学ぶ。	2	教科書 学習ノート (記述の点検)

計 70 時間 (50 分授業)

## 6 課題・提出物等

- ・定期テストの他に小テストを実施することがあります。
- ・教科書や学習ノートには直接書き込みができる欄が多くあります。忘れず毎回持参してください。また、自分なりのメモや考えも書き込むようにしましょう。

## 7 担当者からの一言

大人になる準備として大切な学習内容ばかりです。1 時間ごとの授業を大事にしましょう。そのために、休み時間中に教科書等の準備を済ませ始業のチャイムを待ちましょう。

これからは、自身や社会にさらに関心を持ち、家庭科の学習が終わる頃には「自ら課題を解決する力」がついていることを目指しましょう。

(担当： 今井 )



